



こんにちは
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

岩崎ひろしです

岩崎ひろし事務所

<日本共産党戸塚区事務所>

横浜市戸塚区上倉田町509-1

TEL:045-865-0074

FAX:045-865-0594

E-Mail:mail@iwasaki-hiroshi.jp

http://www.iwasaki-hiroshi.jp/

市は一人も残さず転園確保の責任果たし、抜本的な再発防止策を 突然の市内認可保育園一部閉園に対する緊急申し入れ

日本共産党横浜市議員団（9人）は、3月8日、市内認可保育園の突然の一部閉園に対して、すべての子ども達の転園先を確保することなどの緊急申し入れを林文子市長あてに行いました。

申し入れは、あらかし由美子団長、古谷やすひこ副団長が行い、子ども青少年局の斉藤聖副局長が対応しました。

3～5歳児37人に突然の転園迫られる

JR鶴見駅に近い地域に、2010年4月にオープンした認可保育園「寺谷にこにこ保育園」が、保育士不足などを理由に、3月末に一部閉園すると発表。新年度に3歳～5歳児となる37人が今月いっぱい転園を迫られ、1、2歳児19人についても来年度末で閉園すると報道されました。

党市議団は、この間、本会議や委員会などあらゆる機会を捉えて、深刻化する保育士不足、待機・保留児解消に向けて市立保育園の増設、保育士の処遇改善等を行うことを要望してきました。

市の責任で転園先の確保を

今回の出来事は、子ども達に直接し寄せが行くことになった極めて深刻なもので、原因の究明や今後の再発防止策など、抜本的な改善策を講ずることが必要です。

緊急の対応として、①転園を迫られている3歳から5歳までの園児37人について、それぞれの転園先を一人の漏れもなく完全に確保すること。②残る1・2歳児についても、



「寺谷にこにこ保育園」 出典：同園HPより



緊急申し入れする党市議団＝3月8日

本市が責任をもって転園先を確保すること。③今回閉園となる保育園を運営している法人に対して強く再発防止策を求めることなど、申し入れました。

3月12日こども青少年局審査で 宇佐美さやか議員（神奈川区）が要請

3月12日こども青少年局審査で宇佐美さやか議員（神奈川区）が円滑な転園など改めて要請しました。

こども青少年局長は、3～5歳児は「現時点で全員分の転園受け入れ枠を他の園で確保している」、1・2歳児の安定的保育の保障に対しては、一年間は「市立保育園長経験者の派遣など必要な支援・指導を行っていく」と答弁しました。